



その他
サービス

日本データスキル 株式会社

企業からの依頼によりソフトウェアを開発、システムコンサルティングなどを行っているが、生産性向上のため中国に合併企業として進出。しかし、人件費高騰により、ミャンマーに現地法人ミャンマーデータスキルを設立した

展開国・地域 2012年 中国
2014年 ミャンマー

企業情報 所在地: 神奈川県横浜市 従業員数: 369名
設立: 1974年4月 URL: <http://www.nds.co.jp/>

事業内容 情報サービス業/ソフトウェア開発/システムコンサルティング/
海外オフショアサービス



- 1 ミャンマーデータスキルのエントランス
- 2 同事務所入口の様子
- 3 同社の現地従業員
- 4 同社で行われている、技術発表会の様子



ミャンマー人は、日本人と気質や感覚が近い

弊社は企業からの依頼によりソフトウェアを開発する会社です。今後日本人の技術者が減ってくると思われる懸念や、技術者を安価な人件費で雇えることを考慮し、生産性向上のためまず中国へ進出しました。しかし、中国での人件費も高騰し、チャイナプラスワンということでベトナムやインドなども検討しました。2014年ごろにミャンマーへ視察に行きました。ちょうど日本からさまざまな企業がミャンマーへ進出していたタイミングで、第一次の進出ピークがミャンマーにきていました。ミャンマー人の気質は日本人と近く、ソフトウェア技術者も比較的多くて見つけやすい。人件費も中国の3分の1くらいということで、ミャンマーへ進出することにしました。ミャンマー人が日本人と協業してノウハウを勉強することによって、ミャンマーが豊かになる。豊かになった国は支えてくれた国と一緒に成長しようとするところがありますので、我々もさらに充実したビジネスを展開できるだろうというのも進出した理由の一つとしてありました。

信頼できるコンサルタントの紹介が大きかった

最初はミャンマーのコンサルタントに相談しましたが費用が見合わなかったため、横浜企業経営支援財団に相談しました。そうこうしているところジェット口からセミナーの案内があり、そこから話がとんとん拍子に進みました。ゼロからの会社設立は初めてだったので、ジェット口「新輸出大国コンソーシアム」の専門家に一から十までお世話になりました。その中でも現地で信頼できるコンサルタントを紹介してもらったのがすごく大きかったですね。自分たちの力だけでは絶対にできなかったと思います。会社を作るにあたってどのような準備が必要かというロードマップ作成指導や、申請書を作成するコンサルタント、提出先などを紹介してもらいました。ジェット口・ミャンマー事務所でも、日本企業の情報や、現地では3カ月ごとに法改正などが行われるなどの細かい情報を教えてもらいました。加えて、現地の日本人会ではお客さんが見つかることもあり、非常に助かっています。

ミャンマーは、今が進出するいい時期

ミャンマーは日本から進出する会社も増えているようですし、これからまだまだ伸びて行く国だと思います。ミャンマーは中国からの輸入が中心となっている国ですが、将来的には輸出へ転換する時期が来るはず。今は対外債務が多い状況にありますが、いずれ輸出で外貨を稼いで安定してきたころに進出しても、もう遅いといわれています。まさに今が進出するいい時期でしょう。ただ、ミャンマーは物流においてタイから陸送で荷物を運ぼうとしても、タイの車は右ハンドルですがミャンマーは右ハンドルが通行禁止。そのため国境で荷物を別の車に積み変えなくてはならないといった現地特有の問題があります。他にも物を作るのに部品がなく、電気が足りないから大きな工場を建てようとするのも難しい。電気の問題が解決するのは2021年だといわれていますので、今から2021年を目指して工場進出するのがよいのではないのでしょうか。インターネットに載っていないことも多いので、ぜひジェット口を活用して、情報をこまめに取った方がよいと思います。



国だと思いきや
ミャンマーは、これから
まだまだ伸びて行く

執行役員
海外システム本部 本部長
高尾 昌宏 氏



専門家からのポイント

チャイナプラスワンの一環でミャンマーへの現地法人設立を検討。現地法人設立のためのノウハウがなく、支援を求められました。ミャンマーの情報がない中、現地のコンサルタント・金融機関などとの面談を行い、現地法人設立手続きに関わる情報収集・事前準備を行いました。また、法人設立に必要な書類やその他法律については、一つのミスが本支援の長期化をもたらすため、ミスが許されず、細心の注意を払いました。市場調査から始め、法人設立まで至ったIT企業の海外進出の模範となる進出成功事例の一つであると感じています。